



ホタル

平成30年1月18日発行
八戸市立白銀南小学校
TEL 33-1126

平成30年 「戌」年の始まり

校長 高谷 信行

穏やかな天候で始まった平成30年、今年の十二支は『戌』です。日本の総理大臣が新年のあいさつで、『戌』の年は人々が笑顔に包まれる年、次なる新しい希望が生まれる年であると話しました。戌年の60年前には東京タワーが完成し、48年前には大阪万博が開催されました。また、東北新幹線が開通したのも36年前です。このように、戌の年には何かしらわくわくするような楽しいことが始まるようです。

また、平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から起算して満150年にあたります。今、明治以降の歩みを次世代に残すことや明治の精神に学び日本のよさや強みを再認識することが大切とも言われています。

3学期の始業式には、1人の事故もなく始業式を迎えることができたことをまず喜びました。次に、冬休み中の部活動や地域の活動でがんばっている様子を褒めました。そして、2学期の終業式に話した、「早寝・早起き・朝ご飯、元気なあいさつ、はきものをそろえる」ことがうまくできたかを確認しました。3学期はとても大事なまとめの学期であり、新しい学年への準備の年でもあります。今の学年を終えてそれぞれ一つずつ学年が進級することから、しっかりまとめの勉強をし、次の学年に備えてほしいと話しました。

裏面に本校の学校評価に関わる児童の学期ごとの自己評価と、児童・保護者・教員の比較を載せております。

児童の学期ごとの自己評価は、児童手帳等で児童が自分の生活を振り返り、客観的に自分を見つめ直すことで、さらに自分自身を向上させていくものです。『あいさつ』や『言葉づかい』については、児童はよくできていると自己評価していますが、『時間ときまりを守る』ことについては、児童の自己評価はあまり高くありません。

また、児童・保護者・教員の比較では、12月の調査においてどの項目も保護者や教員に比べて児童の自己評価が高くなっています。保護者と教員の評価を比較してみると、保護者は児童の『言葉づかい』や『本を読む』ことにさらなる向上を求めているのに対して、教員は児童が『時間ときまり』を守ることに向上を求めています。どうぞ、ご家庭でもお子さんと生活の見直しについて話し合ってみてください。

